

Press Release

2026年3月30日

報道機関各位



武庫川女子大学
Mukogawa Women's University

広報室

(Tel 0798-45-3533)

(E-mail kohos@mukogawa-u.ac.jp)

武庫川女子大学附属総合ミュージアムで、 新制女子大学の初期を振り返る春季展 「新制女子大学として抱いた夢と理想」を開催

2027年4月から、共学化という新たな変革を迎えるにあたり、「女子大学」としてのスタートラインを振り返る展覧会を企画しました。開催期間は4月3日から6月3日まで。

【2026年度春季展概要】

タイトル 武庫川女子大学附属総合ミュージアム 2026年度春季展
「新制女子大学として抱いた夢と理想」
会期 2026年4月3日（金）～6月3日（水）
場所 武庫川女子大学学術研究交流館 5階ギャラリー（附属総合ミュージアム）
開館時間 午前10時～午後4時30分
休館日 土曜・日曜・祝日（5月24日は午前10時～午後3時まで開館）
観覧料 無料 予約不要

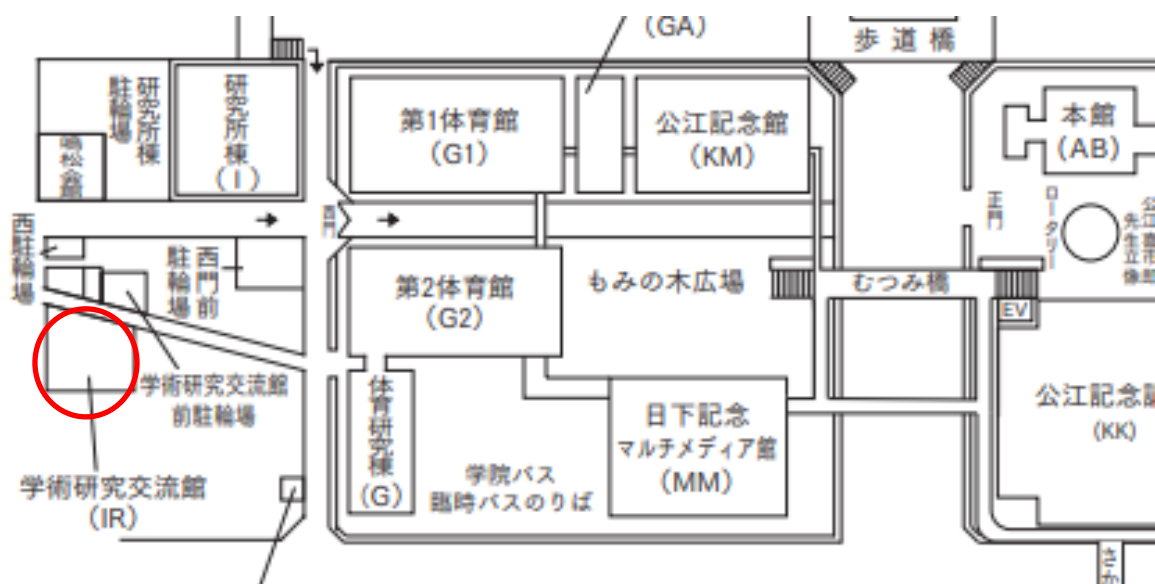
武庫川女子大学の母体である武庫川学院は1939年2月に創設。同年4月、武庫川高等女学校を開校しました。戦後、新学制が敷かれ、女子大学も大学としての設置が可能になったのを受け、1949年、新制大学の“第一期”の一つとして、武庫川学院女子大学を開学しました。

開学時、学芸学部には国文学科と生活科学科（食物学専攻、被服学専攻）を設置。1958年に武庫川女子大学と改称しました。1962年には薬学部を開設し、総合大学への道を歩みます。現在は13学部21学科を有する総合大学に発展し、2027年4月から共学化して「武庫川大

学」となるが決まっています。

春季展では、現在の生活環境学部のルーツである学芸学部生活科学科と、総合大学への足掛かりとなった薬学部の資料を中心に約 50 点を展示しています。昭和 27 (1952) 年度の入学案内や、昭和 35 (1960) 年度の大学要覧などの印刷物をはじめ、薬学部で使用していた顕微鏡や生薬標本、生活科学科で使用した雛型や台所セットの標本などの実物を、校舎の写真などとともに展示し、当時の授業風景がよみがえる構成となっています。

戦後、新制女子大学が担った大きな期待と、今また新たな皆学に踏み出そうとする本学の未来を、具体的な資料を通して感じ取ってもらえる展覧会です。ぜひご取材ください。



この案内は西宮市政記者クラブ、兵庫県教育委員会記者クラブの各加盟社にお送りしています。

この件に関する取材のお申込み、お問い合わせは
広報室 Tel 0798-45-3533
メール kohos@mukogawa-u.ac.jp
へお願いします

生薬標本（薬学部所蔵）



天秤（食物栄養科学部所蔵）



雛道具荒神棚付台所セット



腊葉標本（薬学部所蔵）